

2026年6月24日

日本製鉄株式会社 代表取締役会長兼CEO 橋本英二

日本成長戦略会議第5回提出メモ

- 国内投資拡大の意思決定が増々難しくなっている中で、予見可能性を高めていく施策を明確化していくことが肝要である。
 - 1) 民間としてリスクの取りにくい案件は少なくとも初期段階においては国が主体となって推進していただきたい。
 - 2) 戦略分野が国際競争力を確保するためにはサプライチェーンとして産業全般の底上げが重要である。世界全体の需要の伸びが期待できない従来型製造業にとって、国内投資を拡大していく際の最大の課題は中国からのアンフェアな安値輸出への対抗であり、自由貿易を原則とする中でも是々非々での通商対策の発動が必要である。
 - 3) 若手の研究者・技術者育成の強化策実行が急務である。一律労働時間規制は若手育成の大きな障害であり、中間管理職への大きな負担ともなっている。早急に是正して人材力を回復することが必須である。
 - 4) GX 分野における新技術開発の競争はより激しくなっており、負けることは許されない。国の方針に沿って既に大きな投資に踏み切っている産業・企業も多い。技術的課題の克服もさることながら、さけられないコストアップを社会全体として吸収していくグリーン市場の形成が大きな課題である。特に、電力や素材は製品やサービスの中身が変わるわけではなく、プロセスの転換であることから、CO2 削減を社会的価値として価格反映させていくという難しさがある。公共調達においてはグリーン素材採用が実践的に進むよう市場形成を主導していただきたい。

- また、企業統治のあり方に関する議論においては経営者の挑戦意欲を妨げないように留意していただきたい。

以上